

# 平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

## 大子町 解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	大子町の木に制定されている木は『ブナ』です。	4
2	大子町の花に制定されている花は『お茶』です。	1
3	大子町の鳥に制定されている鳥は『オシドリ』です。	3
4	707年（慶雲4年）に創建されたと伝えられている近津神社の境内に御神木として『銚スギ』が植えられています。推定樹齢1300有余年とされ、その昔、源義家（八幡太郎）が奥州平定に赴く際、自らの銚をこの杉に立掛け武運長久と戦勝を祈願したと伝えられています。	4
5	2019年に開催される第74回国民体育大会において大子町では『カヌー』が行われます。	2
6	2007年（平成19年）6月に『読書のまち』を日本で最初に宣言しました。町民が読書に親しみ、読書を通じて心豊かになれる町づくりを目指しています。	1
7	町が進める大学との連携事業の一環として『東京理科大学』は、旧大子二高の校舎を改修し、学生がサークルやゼミの合宿に利用するために「大子研修センター」を設置しました。	2
8	平成25年に開局したFMだいの周波数は『77.5メガヘルツ』で、行政情報やイベント情報など旬な話題を毎日放送しています。	2
9	平成30年4月1日現在の人口は、17,572人で『約17,000人』です。	3
10	『大町桂月（おおまちけいげつ）』は、高知県出身で近代日本の詩人、歌人です。桂月は1920年（大正9年）に男体山を訪れ、「久慈の奥男体山を仰ぎ見て画を学ばんと思ひけるかな」とその絶景を短歌に詠みました。	1
11	『永源寺』は、1446年（文安3年）に創建された寺院で、紅葉シーズンには真っ赤なモミジが境内を彩ることから、通称「もみじ寺」と呼ばれています。	4
12	『袋田の滝及び生瀬滝』は、2015年（平成27年）3月に茨城県内では90年ぶりに国の名勝に指定されました。日本三名瀑のひとつに数えられる袋田の滝は、大岩壁を四段に流れ落ちることから別名「四度（よど）の滝」とも呼ばれ、数多くの文人が訪れ風景を詠った詩歌を残しています。また、袋田の滝の上流に位置する生瀬滝には、この地を拓いた大太坊（だいたんぼう）にまつわる民話が伝わり、長らく地域の人々に親しまれてきました。風光明媚な景観は、観賞上の価値だけでなく学術的な分野からも高い評価を受けています。	2
13	平成28年12月9日に大子町の奥久慈りんご『秋映』が、無人補給機「こうのとりのり」6号機によって国際宇宙ステーションに届けられました。地元の生産者は「宇宙りんご」と名付け、ポスターなどを作成しPRをしています。	3
14	『常陸大黒』は、2002年（平成14年）に茨城県が日本で初めて花豆という種類の中で黒一色となる品種改良に成功した豆で、一粒の大きさは日本最大級です。暑さに弱いことから茨城県北部でしか生産できません。	2
15	奇岩、怪石のつくりだす『男体山』は、山全体がかたい岩石でおおわれ、山の西側と南側は急なげになっています。山頂からの鳥瞰的な眺望が素晴らしいことから、ハイカーに人気の山です。	1
16	こんにやくは従来生芋のまま運んでいたため、腐りやすく、また、重量もあるため輸送費もかかっていました。『中島藤衛門（なかじまとうえもん）』は、こんにやく芋を薄く切って乾燥させ、粉末状にすると日持ちもして軽量化できると考え、粉こんにやく製法を発明しました。これにより、江戸、大坂方面まで運ぶことに成功し、販路の拡大に功績を残しました。	4
17	奥久慈茶は、1593年（文禄2年）に栽培が始まったと伝えられ、約400年の歴史があります。京都で宇治茶の製法を学び、茶の葉を摘んで焙烙で蒸し、炭火の上に焙烙を置き、手でもむ『手もみ』により、良いお茶が作られるようになりました。	4
18	『奥久慈ゆば』は、奥久慈産の厳選された良質の大豆を、日本名水百選にも選ばれている八溝山系の清らかな水を使用し、一つひとつ精魂込めて作り上げているこだわりの逸品です。	2
19	大子町にあるJR水郡線の駅は、「西金」「上小川」「袋田」「常陸大子」「下野宮」の『5駅』です。	3
20	『ミヤマスカシユリ』は、絶滅危惧種に指定されている貴重な花です。全国的に見ても袋田の滝など茨城県北部をはじめ、岩手県や宮城県や埼玉県山地でしか確認されていない希少な植物です。	1
21	久慈川に木や竹を並べて水流をせき止め、魚を捕らえる仕掛けを設置した『奥久慈大子観光やな』は、鮎のつかみどりなどが楽しめる人気の高い観光スポットの一つです。	4
22	『外大野のしだれ桜』は、茨城県指定天然記念物に指定されており、樹齢300有余年の桜の木で、地元では「下大倉（しもおおくら）の桜」と呼ばれ、伝承に寄れば、かつて水戸藩第2代藩主の徳川光圀お手植えの桜といわれています。	2
23	『月待の滝』は、久慈川の支流生瀬川がつくり出す滝で、落差17メートル、幅12メートルで2筋に流れ落ちる水の裏側を歩くことができます。古くから二十三夜尊信仰の場で、二十三夜の月が出るのを待って祈願したことからその名が付けられました。	3
24	『奥久慈しゃも』は、全国特種鳥（地鶏）味の品評会で第1位に選ばれた大子町のブランド鶏です。食材にこだわる料亭やレストランで人気が高く、多くのファンを集めています。	4
25	『袋田温泉』は、平安時代に発見されたと伝えられている温泉で、水田の中に自然に湧き出していたことから「田毎（たごと）の湯」と呼ばれています。	3